

## 2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	松野良一		
NAME	Ryoichi Matsuno		

## 1. 研究課題

（和文）戦争体験者の記憶のアーカイブ化

（英文）

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）期間中に、以下のものを執筆し、掲載された。さらに、研究成果を2018年度に発表する予定。

戦争体験者の証言記録について、順調に進んでいる。同時並行で論考を発表している。

松野良一「後続くを信ず:3人の特攻隊員」『調査情報』、TBSメディア総合研究所、第3期（537）、74-77、2017-07

松野良一「日台関係史スタディツアーの構築(後編)」『調査情報』、TBSメディア総合研究所、第3期（536）、70-73、2017-05

松野良一「日台関係史スタディツアーの構築(中編)」『調査情報』、TBSメディア総合研究所、第3期（535）、70-73、2017-03

松野良一「日台関係史スタディツアーの構築(前編)」『調査情報』、TBSメディア総合研究所、第3期（534）、68-71、2017-01

松野良一「日本全国 B29 慰霊碑物語」『調査情報』、TBSメディア総合研究所、第3期（533）、70-73、2016-11

松野良一「「桜を見たい」:ベルリン郊外で散った日本人医師」『調査情報』、TBSメディア総合研究所、第3期（532）、80-83、2016-09

松野良一「大学生が戦争体験者を取材し、映像作品を作ることの意味」『月刊民放』、日本民間放送連盟、46(8)、24-27、2016-08

（英文）

The work of recording the testimony of the person who experienced the war is proceeding smoothly. Simultaneously with the investigation, I wrote seven articles, which were published.

In 2018, I will publish one book and several papers related to war testimony.